

平成24年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		公益財団法人 武蔵野市福祉公社						
①	指標名	医療ケアを担えるヘルパーの育成			目標値	22人	実績値	24人
	過去の実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成率	109.1%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)	15	51	16				
	取組内容	<p>※24年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>安定した在宅生活を支えるため、ホームヘルプセンターだけでなく、市内事業所ヘルパーに関しても、技術のみだけでなく目的、必要性も踏まえた知識を持ち、医療ケアが実践できるスキルを習得できるよう研修をおこなった。(自己導尿の準備・体位保持、市販洗腸を用いた洗腸)</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>受講者25名の内、目標としていた22名を超え、24名が修了した。平成25年度からは、制度変更により、東京都介護職員初任者研修の指定事業所の認定を受けるとともに、介護職員初任者研修を実施し、引き続き介護職員の養成に寄与して行く。</p>						
二次評価	<p>目標達成を評価する。今後も利用者のニーズに対応すべく、必要な研修を実施すること。</p>							
②	指標名	経常収支比率の改善			目標値	95.0%	実績値	92.0%
	過去の実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成率	96.84%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)	90.4%	90.4%	93.1%				
	取組内容	<p>※24年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>介護保険事業について利用者増の取り組みを行った他、人員の見直しを行い、在宅サービス訪問介護係について24年度10月より1名を減、24年度末2名減とした。 なお、有償在宅福祉サービス事業および権利擁護事業について、利用料金体系も含め事業の適正化を図るため、市が設置した福祉資金貸付制度見直し検討委員会において有償在宅福祉サービス事業について検討いただき、3月に委員会報告を得た。</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>上記の取り組みをおこなったが、介護保険制度改正の影響により訪問介護の収支が改善できず、目標値には達しなかった。ただ、人員削減が年度末だったことから、25年度からは、有償在宅福祉サービス事業及び権利擁護事業の改変や訪問介護・居宅介護など介護保険事業の効率化へのさらなる取組なども含め、収支は改善されると考える。</p>						
二次評価	<p>介護保険制度改正の影響があったことは理解する。各職員の経営感覚、コスト意識醸成についても取組むこと。</p>							
③	指標名	職員研修のさらなる充実(専門研修・視察研修除く)			目標値	300人	実績値	299人
	過去の実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成率	99.67%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)	276人	210人	257人				
	取組内容	<p>※24年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 与えられる研修から自らが取り組む研修への移行を目指し、職員自らが研修の必要性、公社職員に不足している知識、ツール等を考え研修計画を自立的に作成・実施できるよう、研修委員会を管理職1名と各係1名からなる構成とし、研修計画の策定、研修の開催運営を行った。 自主研修支援制度を立ち上げ、自主研修グループによる自己啓発を推奨・支援する体制を整え、3団体が、自主研修グループとして活動した。 新規採用職員のOJT研修を見直し、適切な育成・指導が組織的に行えるよう体制を整えた。 						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>上記のとおり、年度当初に計画した数値目標には到達できなかったが、職員研修のさらなる充実という観点からは、その体制の整備が、一定程度達成できた。今後は、人材育成への取組を行うにあたり、人事制度とのリンクも含め検討していく。</p>						
二次評価	<p>組織目的達成のため、今後も人材育成に努めること。経営感覚を培うための指導方針として、若手職員の育成も重要となるので、企画立案過程に関わらせるなど工夫されたい。</p>							